

保育・幼児教育施設における 保護者との情報共有と利用ツール②

施設形態・運営主体によるツール利用状況の差異

○高橋翠† 淀川裕美† 野澤祥子† 関智弘† 村上祐介† 遠藤利彦† 秋田喜代美†
†東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター

発表概要

■ 保護者との情報共有

…安全で質の高い保育の実施にあたって不可欠

■ ICTツール…保護者との情報共有とは別の文脈で、 保育者の労働負担軽減に向け導入が進められている

- 保護者との情報共有においては、各種ICTツールは全国的にあまり利用されていない（高橋, 2017）

■ 従来型ツールの利用状況を調査

- 施設形態や運営主体によるツール利用の特徴も含めて明らかにすることを通じて、今後、保護者との情報共有にICTツールをより効果的に導入していくための資料・示唆を得る

研究の背景

■ 保護者との情報共有

…安全で質の高い保育の実施にあたって不可欠

■ 保育・教育施設の運営におけるガイドライン

（保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領）

…日頃から園が保護者との間での的確な情報共有を行い、緊密な連携関係を築いていくことの重要性を説いている。



代表的な情報共有ツール（手段）

（公財幼少年教育研究所，“保育実践辞典”，2016）

- 連絡帳
- お知らせ（園便り・クラス便り）
- 掲示物
- 電話
- 対面（送迎時の会話）

- ウェブサイト
- メール

最新のテキストには
情報共有の手段として
既にICTツールも登場

従来型ツールの利用と保育者の労働負荷

- 保育士を対象としたインタビュー（金城ほか, 2011）
 - 「**保護者への連絡・手紙作成**」が持ち帰り仕事となっており、負担に感じられている
- 保育士50名を対象にしたアンケート調査（吾田, 2015）
 - 園内での時間外勤務や持ち帰り仕事として、**連絡帳の記入や園だよりの作成**が高頻度で行われている
- 北海道の保育所300園余を対象にした調査（川村, 2015）
 - 園長「**保育日誌などの書類作成業務**が更に煩雑となり、負担が増している」（62.2%が同意）、「事務作業を行う時間がないため、持ち帰り仕事が増えている」（56.5%が同意）

保育・幼児教育施設におけるICT技術の普及

■ 保育者の負担軽減を目的としたICTツールの導入と助成

- “保育所等におけるICT化推進等事業”（平成27年度補正予算）
- 「保育所等における保育士の業務負担軽減を図るため、負担となっている書類作成業務について、ICT化推進のための保育システム（指導計画やシフト表の作成等）の購入に必要な費用を支援する」事業
- 保護者との情報共有におけるICT化を主眼にした事業ではない

■ 保育所や幼稚園では、保護者との情報共有においてICTツールはあまり利用されていない（高橋, 2017）

- 例外は幼稚園・認定こども園が理念や子どもの様子を伝えるために「ウェブサイト」を比較的よく利用している

本研究の目的

- 今後、保育者の負担軽減に向けて保護者との情報共有にICTツールを導入していくためには、現時点で各施設がどのツールをどの程度利用しているか、その実態を把握する必要がある。
- そこで本研究では、全国の保育・幼児教育施設における保護者との情報共有に関する実態（各ツールの使用状況）を調べた。
 - ICTツールの利用状況との比較
 - ICTツールの利用が他のツールの代替手段となっているか検討

今回は通常の保育における情報共有に着目

調査項目

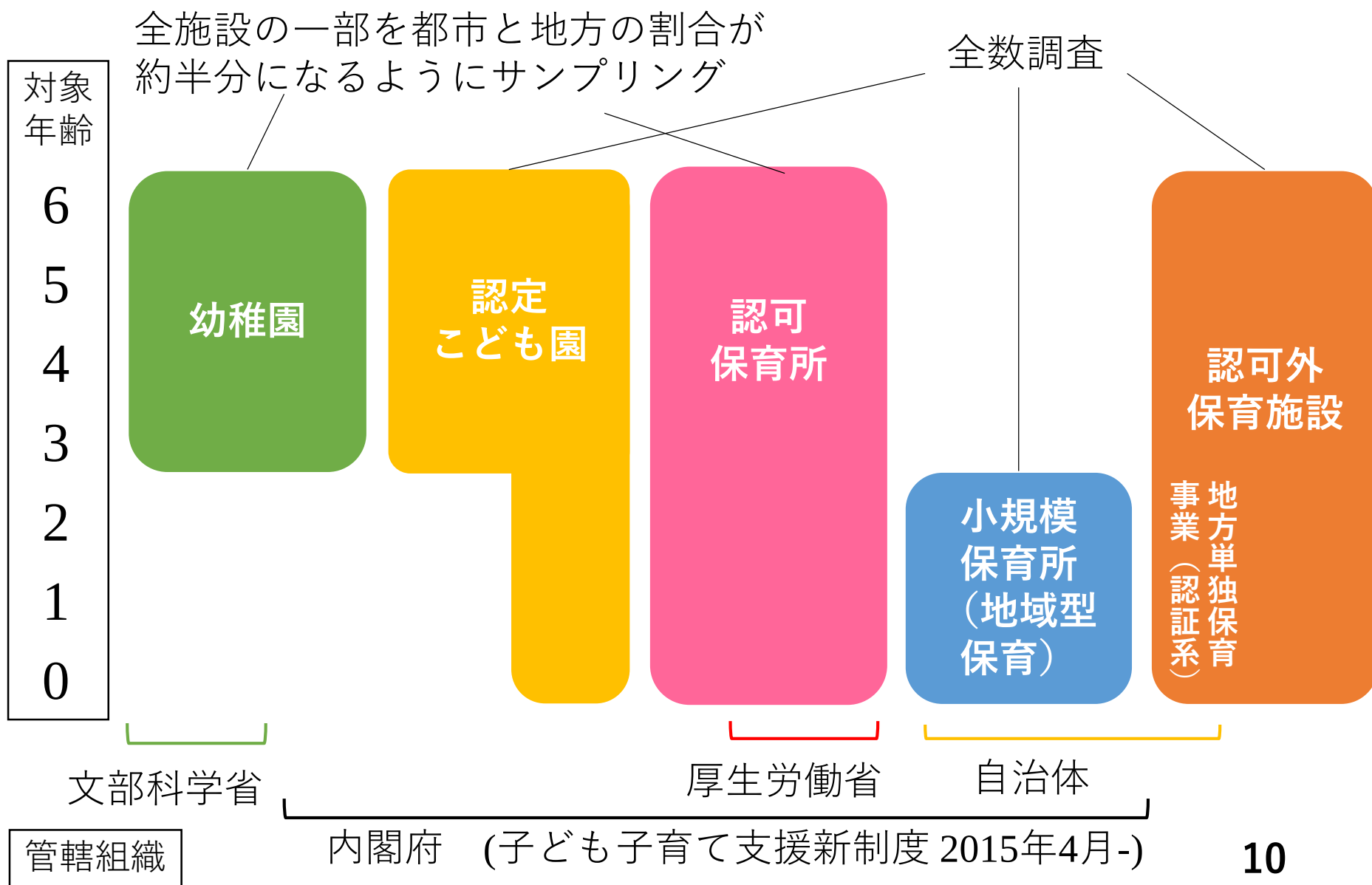
ツール／目的（4つ）	保育・経営 理念の伝達	日々の実践や 子どもの様子の 伝達	通常の 事務連絡	非常時の 事務連絡
a連絡帳	○	○	○	
b園だよりやクラスだより	○	○	○	
c園内の掲示物	○	○	○	○
d園のウェブサイト	○	○	○	○
e SNS・アプリ	○	○	○	○
fメール・ML	○	○	○	○
g日々の送迎時の会話	○	○	○	
h保護者会	○	○	○	
iその他	○	○	○	
電話			○	○

■ 保護者との情報共有における使用頻度を
1「まったく使わない」～5「よく使う」の5段階で評定

『全国保育・幼児教育施設大規模調査』 (発達保育実践政策学センター, 2015)

- 全国の**保育・幼児教育施設**を対象に実施した質問紙調査
- 対象：園長，主任，クラス担任（1・3・5歳児）
- 園単位で質問紙を送付・回収
 - 今回は主任票の結果を取り上げる
 - 主任票の回収率 6,801名（園）（33.3%）
 1. 認可保育所 2597（53%）
 2. 認定こども園 1159（45%）
 3. 幼稚園 1409（41%）
 4. 小規模保育所 538（33%）
 5. 認可外保育施設 1098（14%）

□ 日本の保育・幼児教育システムと調査対象



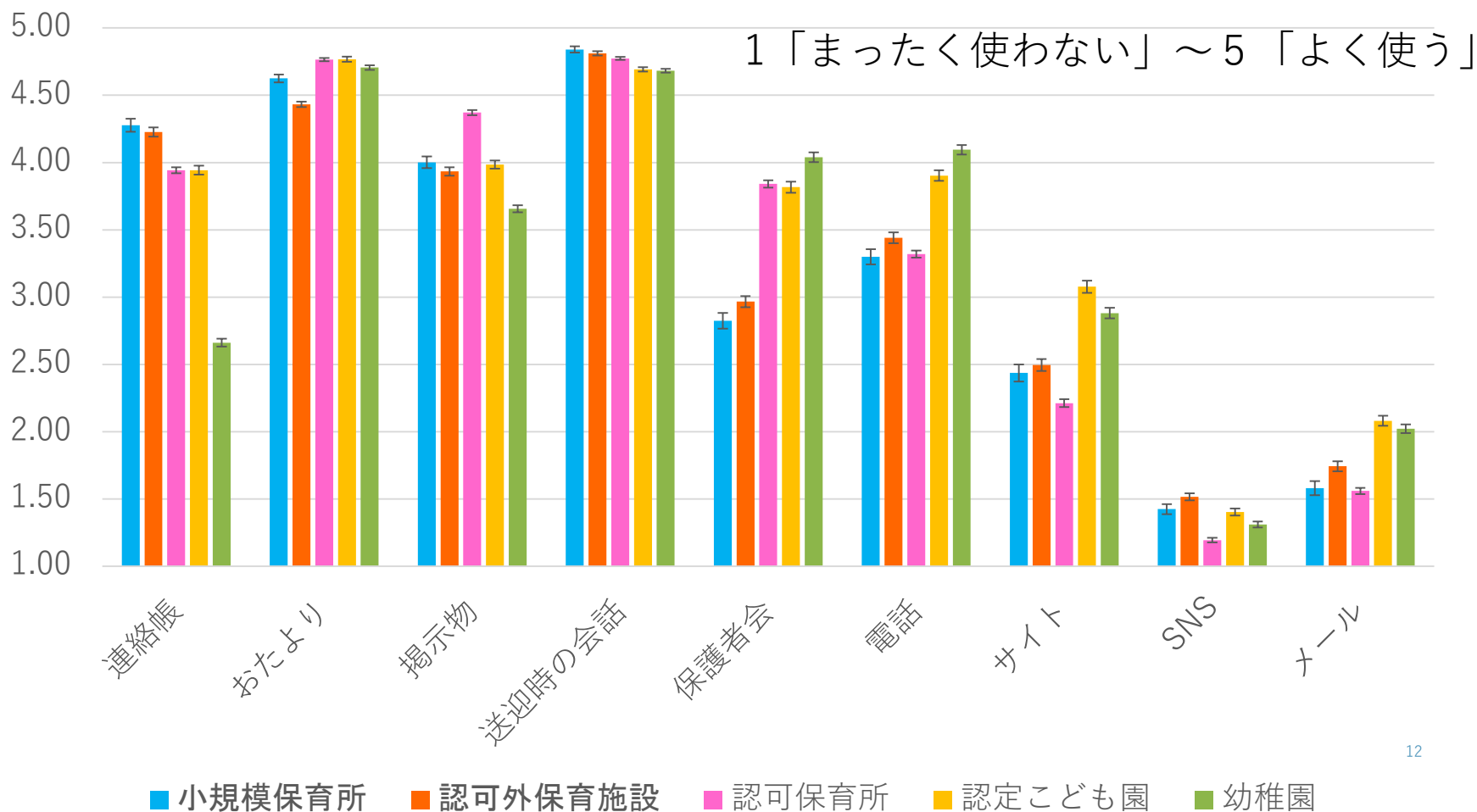
結果①：

各ツールの目的別利用状況の相関性

- あるツールがいずれかの目的（保育・経営理念の伝達、日々の様子の伝達、事務連絡）でよく利用される場合には、他の目的でも同様によく利用されているかどうかを明らかにするために、因子分析を実施。
 - 主因子法・プロマックス回転・9因子（目的“通常事務連絡”のみ評価を行った「電話」を除くツールの数）
 - 基本的に、ほぼすべてのツールについて、目的間で使用頻度に強い正の相関関係が認められた。
 - **ただし、「日々の送迎時の会話」「園だより・クラスだより」**
→ “日々の様子の伝達” & “通常の事務連絡”での利用頻度と、
“保育・経営理念の伝達”における 利用頻度間の相関性が低い。

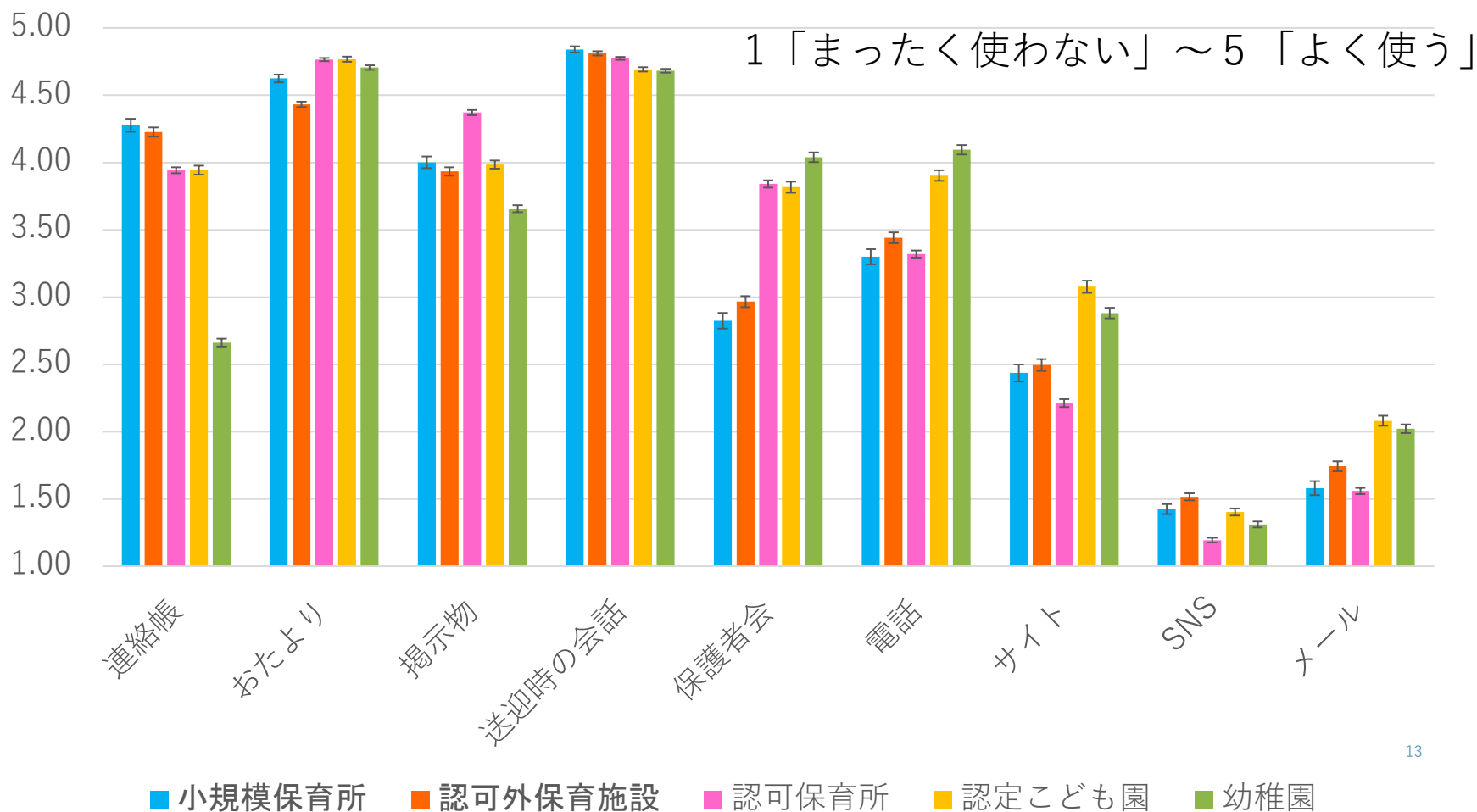
結果②：各ツールの利用状況（通目的的）

施設形態別に使用頻度の平均値をプロット



結果②：各ツールの利用状況（通目的的）

施設形態別に使用頻度の平均値をプロット



ICTツールの利用は従来型ツールの代替手段とは なっていない

		連絡帳	おたより	掲示物	送迎時の 会話	保護者会	電話
サイト	R	-0.005	.059**	.043**	.027*	.080**	.195**
SNS	R	.107**	-.035**	0	0.002	-0.02	.095**
メール	R	.059**	0.009	-0.02	-0.02	.080**	.219**

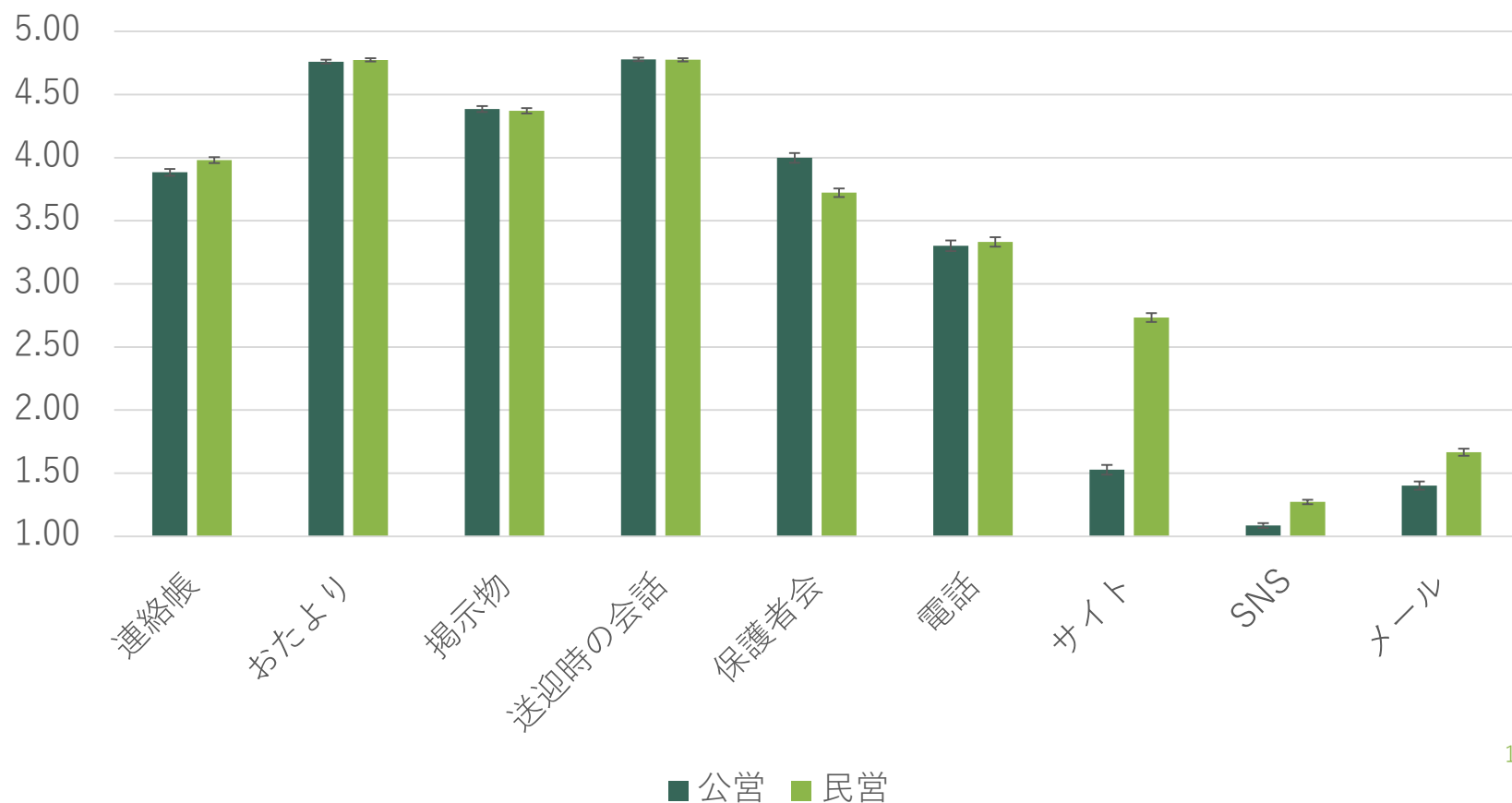
各ツールの使用頻度と担任の職務負担感

事務作業 負担感	サイト	SNS	メール	連絡帳	おたよ り	掲示物	送迎時 の会話	保護者 会	電話
1歳児	-.065**	-.083**	-0.017	-.061**	.077**	.077**	-.030*	.164**	-0.023
3歳児	-.092**	-.084**	-.066**	-0.005	.074**	.069**	0.024	.108**	-.046**
5歳児	-.097**	-.073**	-.052**	0.002	.048**	.076**	0.017	.095**	-.035*

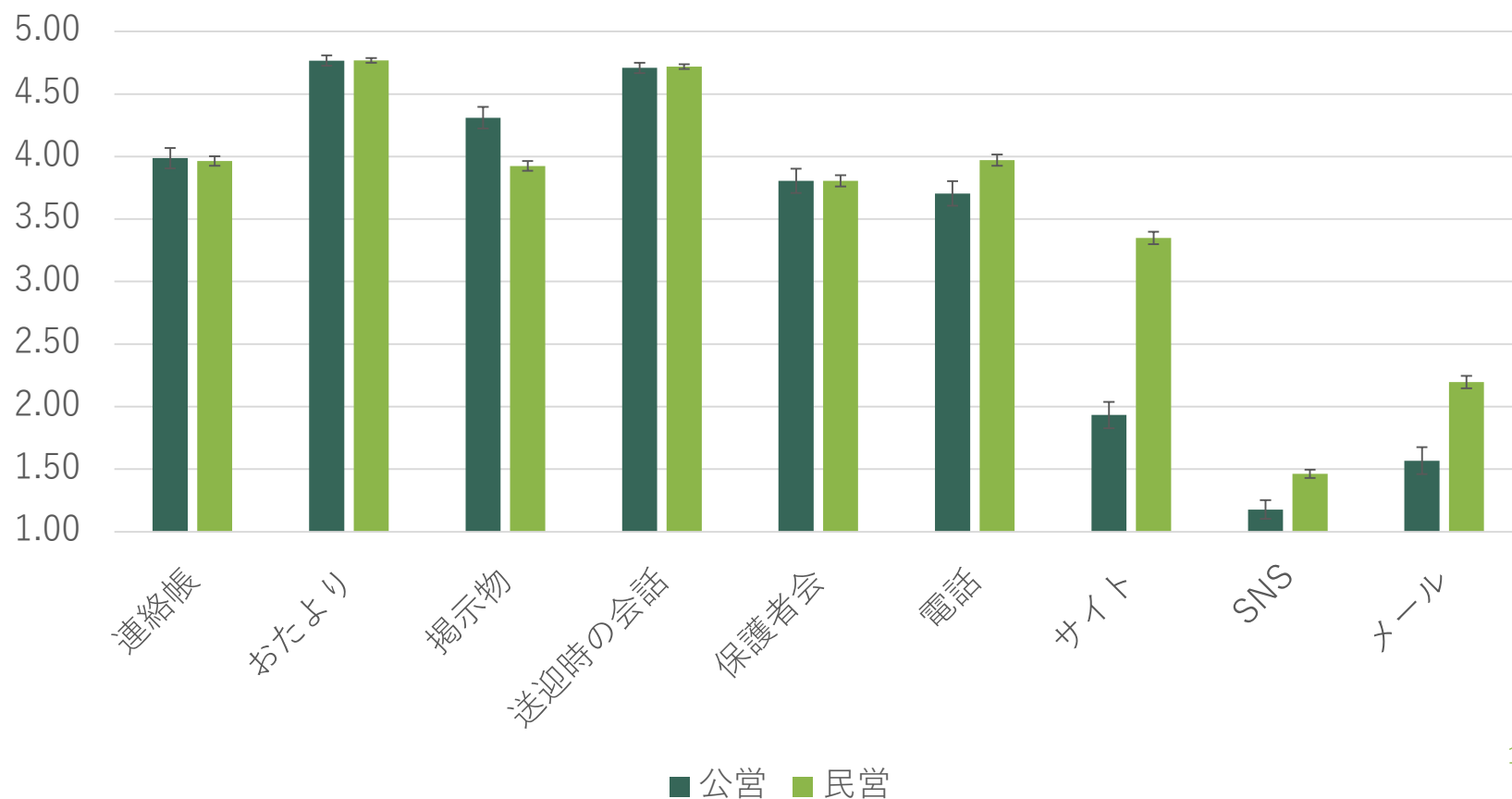
施設形態別に、 運営主体（公立・私立）による違いを検討

- 施設の公私…自治体が施設の運営主体となっているかどうか
 - 職員の身分や配置転換、研修等のあり方や入園する子どもの家庭状況等が異なっており、ICTツールの導入を検討する上で分析の対象とすべき要因。
 - 認可保育所、認定こども園…公設公営、公設民営または民設民営
 - 幼稚園…公立、私立（私学）

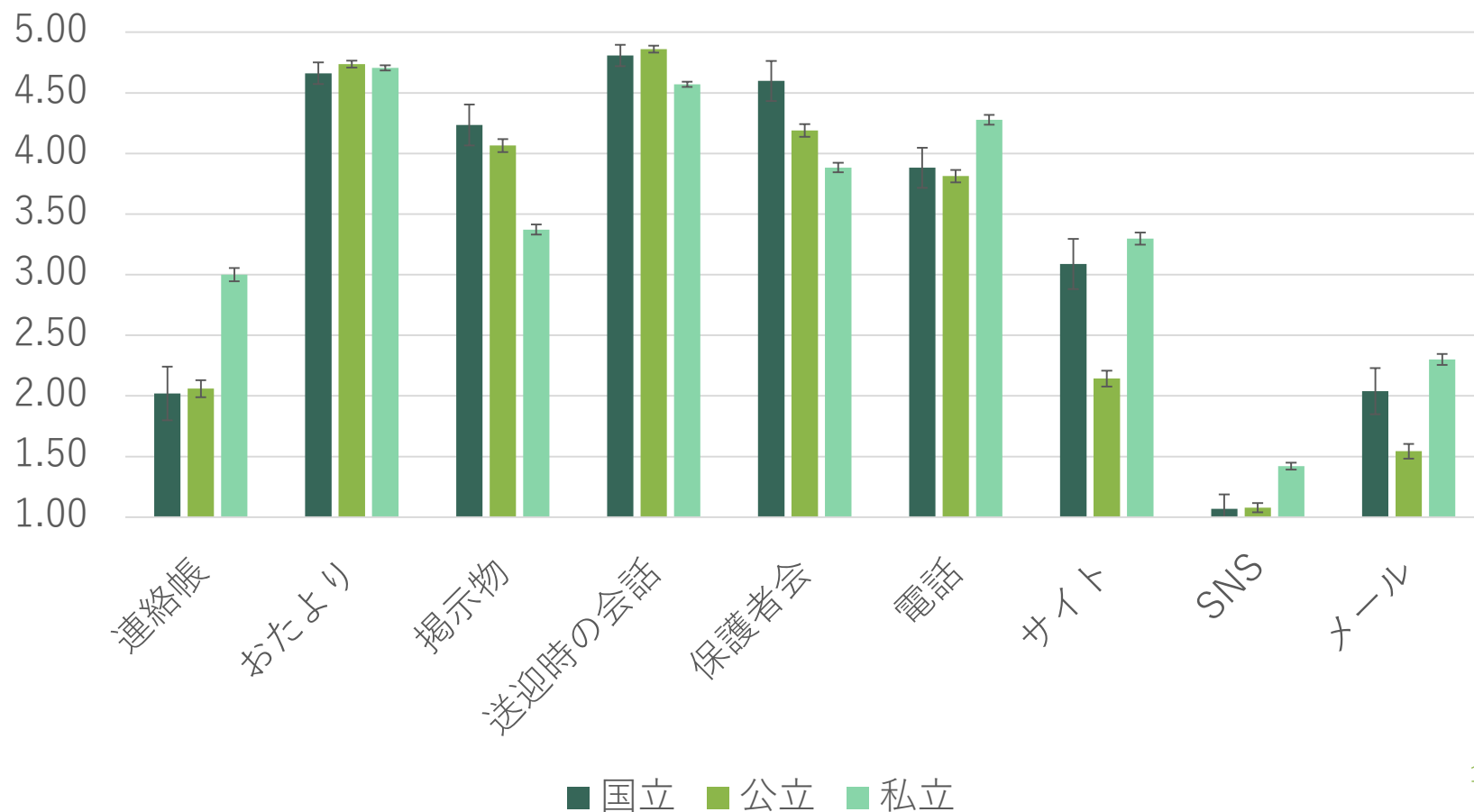
結果③：認可保育所における情報共有ツールの利用状況（公営・民営による比較）



結果④：認定こども園における情報共有ツールの利用状況（公営・民営による比較）



結果⑤：幼稚園における情報共有ツールの利用状況（国立・公立・私立による比較）



考察と今後の展望

- 保護者との情報共有において、ICTツールは3種類いずれも他の従来型ツールに比べて活用されていないことが明らかとなった。
 - 現時点では保育者の労働負担の軽減と家庭との連携に寄与する、効率的・効果的なICTツールの開発する余地が大きく残されている状態である
- 新たなツールの開発と導入にあたっては、各施設でよく利用されている方法について、種々のメリット／デメリットや、なぜそれらがよく利用されているのかを分析・把握し、各々の施設の実情に合わせたより現実的・効率的な方策を探っていく必要がある